

アレックスサンドロ・ボルタ

アレックスサンドロ・
ボルタ
Alessandro
Volta

1745年
ー
1827年



モノづくりの偉人たち vol.04

皮をむいたカエルの足に金属の棒をつけると筋肉が縮むのは、動物が持つ動物電気によるものと考えたイタリアの解剖学者ガルバーニに対し、この現象に興味を持った物理学者のボルタは、違う種類の金属が触れ合う時に生じる電気が原因であることを突き止め、1794年に、これを金属電気と名づけて発表。さらに研究を進めて二種類の金属と少しの塩水から電気を取り出すことに成功する。そして、銅と亜鉛の円板の間に塩水で濡らした布を挟んだものを、何十枚も重ねること、強い電気を生む世界初の電池、「ボルタ電池」をつくり、1800年、イギリスの王立協会に報告した。この発明は、電気や磁気の研究、化学の発展、新しい工業の創出などに貢献し、後の世に大きな影響を与えていくこととなった。

参考引用／集英社刊
「学習漫画 世界の伝記 別冊 世界の発明 発見事典」

セコイア

アメリカ合衆国 カリフォルニア州

セコイアはスギ科(またはヒノキ科)セコイア属の針葉樹の巨木。世界一樹体積が大きくなる樹木として有名です。中でも、カリフォルニア州セコイア国立公園に自生する通称「シャーマン将軍の木」は、樹高約84m、体積約1,487m³。地球上で最も巨大なセコイアと言われています。

表紙の写真
世界の巨木

Tree No.04

